

運用報告書 (全体版)

D I A M高格付外債ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2008年10月15日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	D I A M高格付外債ファンド 「国際機関債」および「海外国債等」を実質的な主要投資対象とします。 国際機関債マザーファンド 「国際機関債」を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンドは、国際機関債マザーファンド受益証券を通じて実質的に「AAA格の国際機関債」に、また直接「AAA格の海外国債等」に、それぞれ投資することにより、信用リスクを回避しつつ相対的に高い利回りと為替益の獲得をめざして運用を行います。 国際機関債マザーファンドは、主として新興国通貨建て国際機関債に投資します。これらの債券は新興国の通貨建てで発行されますが、その信用力は当該新興国ではなく発行体である国際機関に依存します。 「国債等」には、国債のほかソブリン債を含みます。 実質的な投資対象である国際機関債および国債は、当初組入時において最高位の信用格付であるAAA格 (S & P社) / Aaa格 (Moody's社) を取得している (ただし、両社が格付を付与している場合には、どちらか高い方の格付を基準) ものに限ります。保有する債券の格付が格下げにより上記基準を満たさなくなった場合は、当該債券を速やかに売却するものとします。 国際機関債マザーファンド受益証券への投資を通じて投資する「AAA格の国際機関債」と、直接投資する「AAA格の海外国債等」の時価金額比率は、おおむね2 : 1程度とします。 実質的な投資対象通貨数は原則として6~10通貨程度とします。これら投資対象通貨の選定にあたっては、主に中短期的金利水準に着目しますが、流動性、投資通貨規制等も総合的に勘案します。 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。 株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
分配方針	決算日 (原則として毎月19日。休業日の場合は翌営業日。) に、経費控除後の利子配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

愛称：トリプルエース

第148期	<決算日	2021年4月19日>
第149期	<決算日	2021年5月19日>
第150期	<決算日	2021年6月21日>
第151期	<決算日	2021年7月19日>
第152期	<決算日	2021年8月19日>
第153期	<決算日	2021年9月21日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「D I A M高格付外債ファンド」は、2021年9月21日に第153期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

DIAM高格付外債ファンド

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入率 %	債券先物率 %	純資産額 百万円
		(分配落)	税金 分	配 金			
第22作成期	124期(2019年4月19日)	円 4,270	円 25	% △1.4	95.5	—	7,333
	125期(2019年5月20日)	4,080	25	△3.9	96.0	—	6,969
	126期(2019年6月19日)	4,159	25	2.5	95.4	—	7,064
	127期(2019年7月19日)	4,258	25	3.0	94.0	—	7,178
	128期(2019年8月19日)	4,114	25	△2.8	94.1	—	6,893
	129期(2019年9月19日)	4,153	25	1.6	94.8	—	6,911
第23作成期	130期(2019年10月21日)	4,151	25	0.6	95.4	—	6,872
	131期(2019年11月19日)	4,167	25	1.0	94.7	—	6,845
	132期(2019年12月19日)	4,199	25	1.4	96.1	—	6,824
	133期(2020年1月20日)	4,267	25	2.2	95.9	—	6,880
	134期(2020年2月19日)	4,172	25	△1.6	96.7	—	6,642
	135期(2020年3月19日)	3,725	25	△10.1	96.2	—	5,837
第24作成期	136期(2020年4月20日)	3,594	25	△2.8	95.5	—	5,608
	137期(2020年5月19日)	3,662	20	2.4	95.9	—	5,709
	138期(2020年6月19日)	3,707	20	1.8	95.5	—	5,747
	139期(2020年7月20日)	3,712	20	0.7	94.9	—	5,723
	140期(2020年8月19日)	3,543	20	△4.0	94.3	—	5,422
	141期(2020年9月23日)	3,563	20	1.1	95.0	—	5,404
第25作成期	142期(2020年10月19日)	3,599	20	1.6	95.3	—	5,411
	143期(2020年11月19日)	3,637	20	1.6	96.7	—	5,397
	144期(2020年12月21日)	3,657	20	1.1	95.5	—	5,377
	145期(2021年1月19日)	3,685	20	1.3	96.4	—	5,380
	146期(2021年2月19日)	3,764	20	2.7	96.9	—	5,451
	147期(2021年3月19日)	3,785	20	1.1	96.5	—	5,430
第26作成期	148期(2021年4月19日)	3,734	20	△0.8	96.2	—	5,312
	149期(2021年5月19日)	3,767	20	1.4	96.0	—	5,346
	150期(2021年6月21日)	3,705	20	△1.1	95.0	—	5,233
	151期(2021年7月19日)	3,689	20	0.1	94.6	—	5,160
	152期(2021年8月19日)	3,685	20	0.4	94.5	—	5,100
	153期(2021年9月21日)	3,653	20	△0.3	94.6	—	4,998

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注5) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
		円	騰 落 率		
第148期	(期首) 2021年3月19日	3,785	—	96.5	—
	3月末	3,736	△1.3	96.5	—
	(期末) 2021年4月19日	3,754	△0.8	96.2	—
第149期	(期首) 2021年4月19日	3,734	—	96.2	—
	4月末	3,753	0.5	95.7	—
	(期末) 2021年5月19日	3,787	1.4	96.0	—
第150期	(期首) 2021年5月19日	3,767	—	96.0	—
	5月末	3,785	0.5	95.7	—
	(期末) 2021年6月21日	3,725	△1.1	95.0	—
第151期	(期首) 2021年6月21日	3,705	—	95.0	—
	6月末	3,741	1.0	95.1	—
	(期末) 2021年7月19日	3,709	0.1	94.6	—
第152期	(期首) 2021年7月19日	3,689	—	94.6	—
	7月末	3,703	0.4	95.0	—
	(期末) 2021年8月19日	3,705	0.4	94.5	—
第153期	(期首) 2021年8月19日	3,685	—	94.5	—
	8月末	3,709	0.7	94.6	—
	(期末) 2021年9月21日	3,673	△0.3	94.6	—

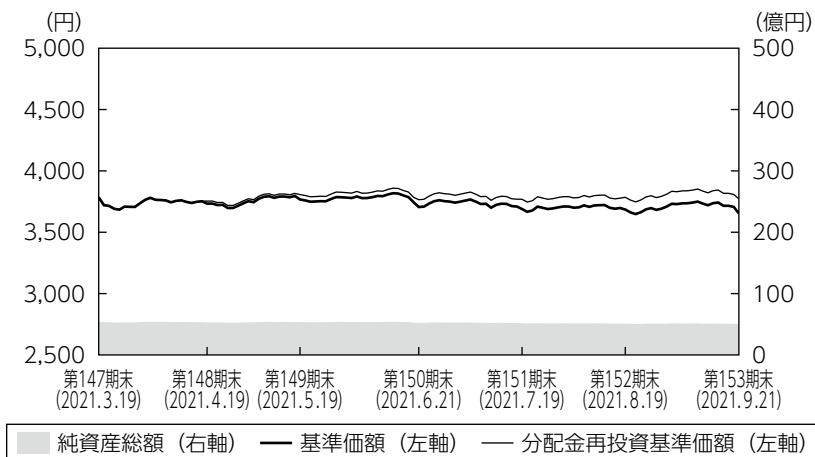
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■第148期～第153期の運用経過（2021年3月20日から2021年9月21日まで）

基準価額等の推移



第148期首： 3,785円
第153期末： 3,653円
(既払分配金120円)
騰落率： $\Delta 0.3\%$
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

世界の主要国における新型コロナウイルスワクチンの接種進展などを受けて世界経済の先行きに対して楽観的な見方が広がり、メキシコペソやインドネシアルピアが上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。一方、金融政策の先行き不透明感からトルコリラが下落したことや、物価上昇圧力の強まりなどから、一部の投資国において金融正常化の動きが進展し、それらの国の国債利回りが上昇（価格は下落）したことは、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

債券市場はまちまちの動きとなりました。メキシコでは物価上昇圧力の高まりを背景に、複数回にわたって利上げが実施されたことなどから、カナダでは経済正常化の進展の中で、量的緩和の縮小が開始されたことなどから、残存2年程度の国債利回りは上昇しました。一方、インドネシアでは、中央銀行が景気支援を重視する、ハト派的な姿勢を堅持したことなどを背景に、残存2年程度の国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

為替市場では、新型コロナウイルスワクチンの接種が先進国を中心に進展する中で、世界経済の先行きに楽観的な見方が強まり、投資家のリスク選好が強まったことなどから、メキシコペソやインドネシアルピアは対円で上昇しました。一方、トルコリラは、市場からの信任の厚かった中央銀行総裁が同国の大統領によって突如解任され、金融政策の先行き不透明感が大きく高まったことなどが嫌気され、大きく下落しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

作成期末時点では、国際機関債マザーファンドを通じて実質的に「AAA格の国際機関債」に純資産総額の3分の2を投資し、残りの概ね3分の1は「AAA格の海外国債等」の中からシンガポール国債およびカナダ国債に概ね同額ずつ直接投資しました。

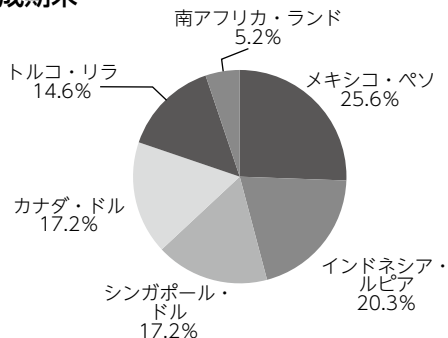
●国際機関債マザーファンド

各国の利回りの水準、新興国通貨建て国際機関債の流動性などを考慮し、メキシコペソ、トルコリラ、インドネシアルピア、南アフリカランド建債券に引き続き投資しました。

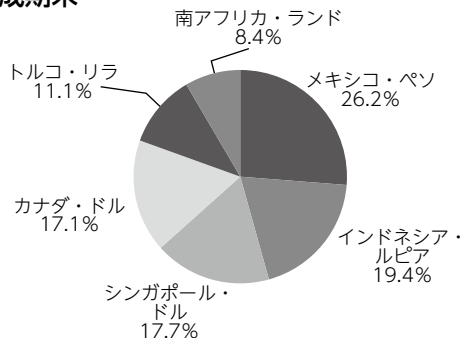
【運用状況】

○通貨別構成比

前作成期末



当作成期末



※比率は当ファンドが実質的に組入れている有価証券の評価額に対する割合です。

分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第148期	第149期	第150期	第151期	第152期	第153期
	2021年3月20日 ~2021年4月19日	2021年4月20日 ~2021年5月19日	2021年5月20日 ~2021年6月21日	2021年6月22日 ~2021年7月19日	2021年7月20日 ~2021年8月19日	2021年8月20日 ~2021年9月21日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.53%	0.53%	0.54%	0.54%	0.54%	0.54%
当期の収益	16円	18円	17円	14円	16円	16円
当期の収益以外	3円	1円	2円	5円	3円	3円
翌期繰越分配対象額	149円	148円	145円	140円	136円	133円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、純資産総額に対して国際機関債マザーファンドと直接組入れる国債等が概ね2：1となるよう運用を行う方針です。なお、直接組入れる国債等については、金利水準および市場流動性などから適宜見直しをはかる方針です。中長期的に安定した収益の積み上げをめざします。

●国際機関債マザーファンド

世界の主要な国際機関が発行する新興国通貨建て債券を組入れる方針です。金利水準および市場流動性などに鑑みながら組入対象については適宜見直しをはかり、引き続き、中長期的に安定した収益の積み上げをめざします。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第148期～第153期 (2021年3月20日 ～2021年9月21日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	28円	
(投信会社)	(14)	(0.363)	
(販売会社)	(14)	(0.363)	
(受託会社)	(1)	(0.027)	
(b) その他費用	0	0.012	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(0)	(0.010)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	29	0.766	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

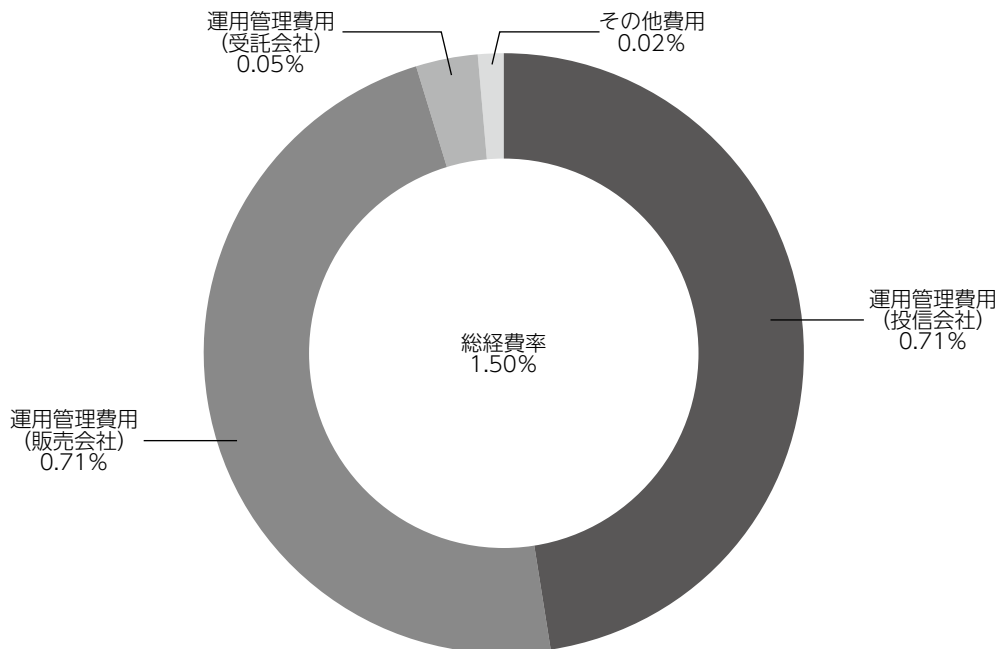
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2021年3月20日から2021年9月21日まで)

公社債

			第 148 期 ~ 第 153 期	
			買 付 額	売 付 額
外 国	カ ナ ダ	国 債 証 券	千カナダ・ドル -	千カナダ・ドル 756 (-)
	シ ン ガ ポ ー ル	国 債 証 券	千シンガポール・ドル -	千シンガポール・ドル 695 (-)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2021年3月20日から2021年9月21日まで)

	第 148 期 ~ 第 153 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
国際機関債マザーファンド	千□ -	千円 -	千□ 240,898	千円 331,000

■利害関係人との取引状況等 (2021年3月20日から2021年9月21日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) 公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	第 26 作 成 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
カ ナ ダ	千カナダ・ドル 9,180	千カナダ・ドル 9,458	千円 809,591	% 16.2	% -	% -	% 7.6	% 8.6
シ ン ガ ポ ー ル	千シンガポール・ドル 10,030	千シンガポール・ドル 10,339	千円 838,004	16.8	-	-	7.9	8.9
合 計	-	-	千円 1,647,595	33.0	-	-	15.5	17.4

(注1) 邦貨換算金額は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、作成期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債銘柄別

銘 柄	第 26 作 成 期 末						償 還 年 月 日
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額			
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
(カナダ)		%	千カナダ・ドル	千カナダ・ドル	千円		
CANADA 2.25 03/01/24	国 債 証 券	2.2500	4,280	4,459	381,689	2024/03/01	
CANADA 1.75 03/01/23	国 債 証 券	1.7500	4,900	4,999	427,901	2023/03/01	
小 計	-	-	9,180	9,458	809,591	-	
(シンガポール)		%	千シンガポール・ドル	千シンガポール・ドル	千円		
SINGAPORE 2.0 02/01/24	国 債 証 券	2.0000	4,700	4,868	394,610	2024/02/01	
SINGAPORE 3.125 09/01/22	国 債 証 券	3.1250	5,330	5,470	443,393	2022/09/01	
小 計	-	-	10,030	10,339	838,004	-	
合 計	-	-	-	-	1,647,595	-	

(2) 親投資信託残高

	第25作成期末		第 26 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千□	千円
国 際 機 関 債 マ ザ ー フ ァ ン ド	2,616,701	2,375,802	3,263,877	

■投資信託財産の構成

2021年9月21日現在

項 目	第 26 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 1,647,595	% 32.7
国 際 機 関 債 マ ザ ー フ ァ ン ド	3,263,877	64.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	127,227	2.5
投 資 信 託 財 産 総 額	5,038,699	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 作成期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2021年9月21日現在、1,668,603千円、33.1%、国際機関債マザーファンドは3,259,314千円、99.9%です。

(注3) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年9月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.57円、1カナダ・ドル=85.59円、1シンガポール・ドル=81.05円、1トルコ・リラ=12.642円、1メキシコ・ペソ=5.45円、100インドネシア・ルピア=0.77円、1南アフリカ・ランド=7.40円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年4月19日)、(2021年5月19日)、(2021年6月21日)、(2021年7月19日)、(2021年8月19日)、(2021年9月21日)現在

項 目	第 148 期 末	第 149 期 末	第 150 期 末	第 151 期 末	第 152 期 末	第 153 期 末
(A) 資 産	5,427,252,201円	5,387,251,339円	5,277,751,859円	5,202,101,190円	5,137,075,824円	5,038,699,764円
コール・ローン等	36,813,607	71,177,244	73,675,130	121,455,672	31,148,094	123,596,504
公 社 債(評価額)	1,738,602,952	1,741,297,184	1,692,312,591	1,663,337,019	1,658,248,981	1,647,595,387
国 際 機 関 債 マザーファンド(評価額)	3,522,079,795	3,563,162,003	3,499,275,064	3,401,962,491	3,368,827,202	3,263,877,364
未 収 入 金	121,268,121	-	-	-	64,000,000	-
未 収 利 息	5,977,273	8,903,226	12,095,167	14,740,710	14,070,935	2,658,014
そ の 他 未 収 収 益	2,510,453	2,711,682	393,907	605,298	780,612	972,495
(B) 負 債	115,071,034	40,572,335	44,633,414	41,467,977	36,549,258	40,290,439
未 払 金	60,704,687	-	-	-	-	-
未 払 収 益 分 配 金	28,453,862	28,386,868	28,248,782	27,980,746	27,683,492	27,368,320
未 払 解 約 金	19,130,942	5,660,168	9,174,659	7,489,197	2,357,419	6,050,930
未 払 信 託 報 酬	6,765,070	6,509,449	7,192,457	5,983,467	6,492,539	6,854,499
そ の 他 未 払 費 用	16,473	15,850	17,516	14,567	15,808	16,690
(C) 純資産総額(A-B)	5,312,181,167	5,346,679,004	5,233,118,445	5,160,633,213	5,100,526,566	4,998,409,325
元 本	14,226,931,126	14,193,434,499	14,124,391,263	13,990,373,468	13,841,746,368	13,684,160,162
次 期 繰 越 損 益 金	△8,914,749,959	△8,846,755,495	△8,891,272,818	△8,829,740,255	△8,741,219,802	△8,685,750,837
(D) 受 益 権 総 口 数	14,226,931,126口	14,193,434,499口	14,124,391,263口	13,990,373,468口	13,841,746,368口	13,684,160,162口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,734円	3,767円	3,705円	3,689円	3,685円	3,653円

(注) 第147期末における元本額は14,345,220,732円、当作成期間(第148期~第153期)中における追加設定元本額は374,686,423円、同解約元本額は1,035,746,993円です。

■損益の状況

〔自 2021年3月20日 至 2021年4月19日〕〔自 2021年4月20日 至 2021年5月19日〕〔自 2021年5月20日 至 2021年6月21日〕〔自 2021年6月22日 至 2021年7月19日〕〔自 2021年7月20日 至 2021年8月19日〕〔自 2021年8月20日 至 2021年9月21日〕

項 目	第 148 期	第 149 期	第 150 期	第 151 期	第 152 期	第 153 期
(A) 配 当 等 収 益	3,559,701円	3,373,574円	3,603,423円	3,036,555円	3,321,092円	3,372,781円
受 取 利 息	3,375,988	3,173,729	3,413,046	2,827,625	3,149,252	3,184,137
そ の 他 収 益 金	184,541	200,446	191,334	210,336	173,838	190,029
支 払 利 息	△828	△601	△957	△1,406	△1,998	△1,385
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△41,572,908	78,450,947	△55,665,219	8,104,461	25,617,178	△13,165,027
売 買 益	7,016,027	80,939,797	407,954	37,644,007	30,844,053	5,394,102
売 買 損	△48,588,935	△2,488,850	△56,073,173	△29,539,546	△5,226,875	△18,559,129
(C) 信 託 報 酬 等	△6,831,168	△6,573,979	△7,268,248	△6,051,399	△6,560,316	△6,918,934
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△44,844,375	75,250,542	△59,330,044	5,089,617	22,377,954	△16,711,180
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△4,790,763,220	△4,821,553,735	△4,717,158,583	△4,743,353,568	△4,692,339,722	△4,628,763,430
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△4,050,688,502	△4,072,065,434	△4,086,535,409	△4,063,495,558	△4,043,574,542	△4,012,907,907
(配 当 等 相 当 額)	(217,315,590)	(211,853,822)	(209,439,737)	(203,553,793)	(194,018,635)	(186,739,040)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△4,268,004,092)	(△4,283,919,256)	(△4,295,975,146)	(△4,267,049,351)	(△4,237,593,177)	(△4,199,646,947)
(G) 合 計 (D + E + F)	△8,886,296,097	△8,818,368,627	△8,863,024,036	△8,801,759,509	△8,713,536,310	△8,658,382,517
(H) 収 益 分 配 金	△28,453,862	△28,386,868	△28,248,782	△27,980,746	△27,683,492	△27,368,320
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△8,914,749,959	△8,846,755,495	△8,891,272,818	△8,829,740,255	△8,741,219,802	△8,685,750,837
追 加 信 託 差 損 益 金	△4,055,745,227	△4,073,532,482	△4,090,564,175	△4,070,975,605	△4,048,736,993	△4,017,075,428
(配 当 等 相 当 額)	(212,347,807)	(210,459,785)	(205,502,936)	(196,100,298)	(188,888,610)	(182,596,761)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△4,268,093,034)	(△4,283,992,267)	(△4,296,067,111)	(△4,267,075,903)	(△4,237,625,603)	(△4,199,672,189)
繰 越 損 益 金	△4,859,004,732	△4,773,223,013	△4,800,708,643	△4,758,764,650	△4,692,482,809	△4,668,675,409

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 148 期	第 149 期	第 150 期	第 151 期	第 152 期	第 153 期
(a) 経費控除後の配当等収益	23,397,137円	26,919,820円	24,220,016円	20,500,699円	22,521,041円	23,200,799円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	217,404,532	211,926,833	209,531,702	203,580,345	194,051,061	186,764,282
(d) 分 配 準 備 積 立 金	0	0	0	0	0	0
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	240,801,669	238,846,653	233,751,718	224,081,044	216,572,102	209,965,081
(f) 1万口当たり当期分配対象額	169.26	168.28	165.50	160.17	156.46	153.44
(g) 分 配 金	28,453,862	28,386,868	28,248,782	27,980,746	27,683,492	27,368,320
(h) 1万口当たり分配金	20	20	20	20	20	20

■分配金のお知らせ

決 算 期	第 148 期	第 149 期	第 150 期	第 151 期	第 152 期	第 153 期
1 万口当たり分配金	20円	20円	20円	20円	20円	20円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

国際機関債マザーファンド

運用報告書

第13期（決算日 2021年9月21日）

（計算期間 2020年9月24日～2021年9月21日）

国際機関債マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2008年10月15日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	「国際機関債」を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資には、制限を設けません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入率 比	債券先物率 比	純資産額
	円	騰落率			
9期(2017年9月19日)	15,239	22.3%	95.5%	—	百万円 8,253
10期(2018年9月19日)	11,200	△26.5	95.7	—	5,087
11期(2019年9月19日)	13,539	20.9	93.3	—	4,603
12期(2020年9月23日)	12,101	△10.6	94.6	—	3,532
13期(2021年9月21日)	13,738	13.5	94.4	—	3,263

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

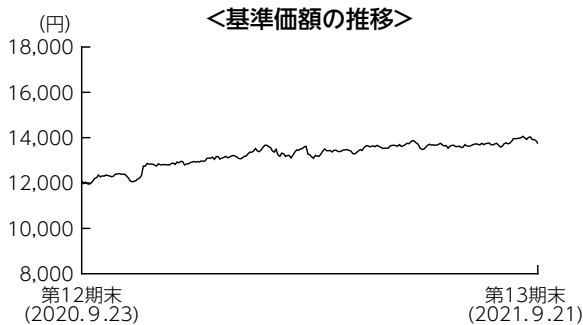
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債券組入比率	債券先物比率
		騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2020年 9 月23日	円 12,101	% -	% -	% 94.6	% -
9 月 末	11,995	△0.9		94.5	-
10 月 末	12,054	△0.4		96.3	-
11 月 末	12,809	5.9		95.8	-
12 月 末	13,100	8.3		95.2	-
2021年 1 月 末	13,173	8.9		95.6	-
2 月 末	13,240	9.4		96.6	-
3 月 末	13,285	9.8		96.3	-
4 月 末	13,472	11.3		95.6	-
5 月 末	13,665	12.9		95.0	-
6 月 末	13,663	12.9		94.3	-
7 月 末	13,679	13.0		94.4	-
8 月 末	13,839	14.4		93.7	-
(期 末) 2021年 9 月21日	13,738	13.5		94.4	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2020年9月24日から2021年9月21日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は13,738円となり、前期末比で13.5%上昇しました。

基準価額の主な変動要因

世界の主要国における新型コロナウイルスワクチンの開発および接種の進展などを受けて世界経済の先行きに対して楽観的な見方が広がり、多くの組入通貨が対円で上昇したことなどは基準価額の上昇要因となりました。一方、経済正常化の動きに伴う物価上昇圧力の高まりなどを受けた一部の投資国において、国債利回りが上昇（価格は下落）したことは、基準価額の下落要因となりました。

投資環境

債券市場はまちまちの動きとなりました。メキシコでは期の後半にかけて、物価上昇圧力の高まりを背景に複数回にわたって利上げが実施されたことなどから、トルコでは金融政策の先行き不透明感の高まりなどから、残存2年程度の国債利回りは上昇しました。一方、インドネシアでは、中央銀行が景気支援を重視するハト派的な姿勢を堅持したことなどを背景に、残存2年程度の国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

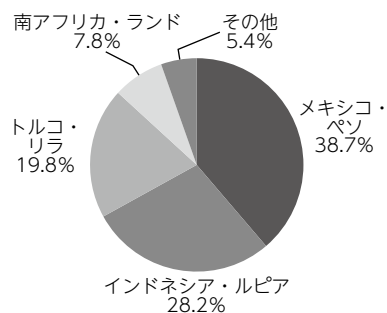
為替市場では、新型コロナウイルスワクチンの開発および接種が先進国を中心に進展する中で、世界経済の先行きに対して楽観的な見方が強まり、投資家のリスク選好が強まったことなどから、メキシコペソ、インドネシアルピア、南アフリカランドが対円で上昇しました。一方、トルコリラは、市場からの信任の厚かった中央銀行総裁が同国の大統領によって突如解任され、金融政策の先行き不透明感が大きく高まったことなどが嫌気され、大幅に下落しました。

ポートフォリオについて

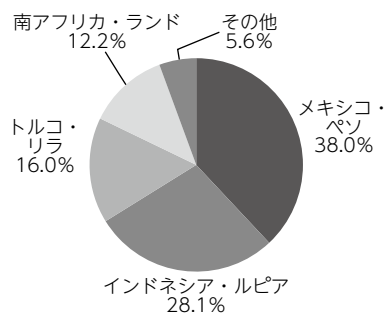
各国の利回りの水準、新興国通貨建て国際機関債の流動性などを考慮し、メキシコペソ、トルコリラ、インドネシアルピア、南アフリカランド建債券に引き続き投資しました。

【運用状況】

○通貨別構成比 期首（前期末）



期末



※ 1 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 2 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

今後の運用方針

世界の主要な国際機関が発行する新興国通貨建て債券を組入れる方針です。金利水準および市場流動性などに鑑みながら組入対象については適宜見直しを計り、引き続き、中長期的に安定した収益の積み上げをめざします。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) その他費用 (保管費用)	2円	0.016%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(その他)	(0)	(0.000)	
合 計	2	0.016	
期中の平均基準価額は13,262円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 売買及び取引の状況 (2020年9月24日から2021年9月21日まで)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	トルコ	特殊債券	千トルコ・リラ -	千トルコ・リラ -(10,000)
	メキシコ	特殊債券	千メキシコ・ペソ 48,766	千メキシコ・ペソ 95,521 (-)
国	インドネシア	特殊債券	千インドネシア・ルピア 10,847,000	千インドネシア・ルピア 30,178,900 (-)
	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカ・ランド 22,844	千南アフリカ・ランド 6,048 (5,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2020年9月24日から2021年9月21日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
ト ル コ	千トルコ・リラ 43,500	千トルコ・リラ 41,333	千円 522,540	% 16.0	% -	% -	% -	% 16.0
メ キ シ コ	千メキシコ・ペソ 227,150	千メキシコ・ペソ 227,680	千円 1,240,905	38.0	-	-	7.7	30.3
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシア・ルピア 115,300,000	千インドネシア・ルピア 119,249,745	千円 918,223	28.1	-	-	2.5	25.6
南 ア フ リ カ	千南アフリカ・ランド 51,500	千南アフリカ・ランド 53,921	千円 399,021	12.2	-	-	6.5	5.7
合 計	-	-	千円 3,080,689	94.4	-	-	16.7	77.7

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期 末					
	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(トルコ)		%	千トルコ・リラ	千トルコ・リラ	千円	
EIB 09/05/22	特 殊 債 券	-	20,000	17,507	221,323	2022/09/05
IADB 26.5 10/25/21	特 殊 債 券	26.5000	23,500	23,826	301,216	2021/10/25
小 計	-	-	43,500	41,333	522,540	-
(メキシコ)		%	千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ	千円	
EIB 7.625 01/12/22	特 殊 債 券	7.6250	40,000	40,368	220,013	2022/01/12
EIB 5.5 01/23/23	特 殊 債 券	5.5000	142,000	141,346	770,368	2023/01/23
IFC 7.25 02/02/24	特 殊 債 券	7.2500	25,750	26,234	142,981	2024/02/02
IADB 7.5 12/05/24	特 殊 債 券	7.5000	19,400	19,731	107,541	2024/12/05
小 計	-	-	227,150	227,680	1,240,905	-
(インドネシア)		%	千インドネシア・ルピア	千インドネシア・ルピア	千円	
IADB 7.875 03/14/23	特 殊 債 券	7.8750	45,300,000	47,639,745	366,826	2023/03/14
EIB 5.2 03/01/22	特 殊 債 券	5.2000	30,000,000	30,142,500	232,097	2022/03/01
IFC 8.0 10/09/23	特 殊 債 券	8.0000	10,000,000	10,665,000	82,120	2023/10/09
EBRD 6.45 12/13/22	特 殊 債 券	6.4500	30,000,000	30,802,500	237,179	2022/12/13
小 計	-	-	115,300,000	119,249,745	918,223	-
(南アフリカ)		%	千南アフリカ・ランド	千南アフリカ・ランド	千円	
EIB 8.375 07/29/22	特 殊 債 券	8.3750	24,500	25,134	185,992	2022/07/29
EIB 8.5 09/17/24	特 殊 債 券	8.5000	27,000	28,787	213,028	2024/09/17
小 計	-	-	51,500	53,921	399,021	-
合 計	-	-	-	-	3,080,689	-

■投資信託財産の構成

2021年9月21日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 3,080,689	% 94.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	183,241	5.6
投 資 信 託 財 産 総 額	3,263,930	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、3,259,314千円、99.9％です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年9月21日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=109.57円、1トルコ・リラ=12.642円、1メキシコ・ペソ=5.45円、100インドネシア・ルピア=0.77円、1南アフリカ・ランド=7.40円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年9月21日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,263,930,569円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	21,708,961
公 社 債(評価額)	3,080,689,229
未 収 利 息	160,228,811
前 払 費 用	1,303,568
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	3,263,930,569
元 本	2,375,802,420
次 期 繰 越 損 益 金	888,128,149
(D) 受 益 権 総 口 数	2,375,802,420口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,738円

(注1) 期首元本額 2,919,193,566円

追加設定元本額 4,539,609円

一部解約元本額 547,930,755円

(注2) 期末における元本の内訳

DIAM高格付外債ファンド 2,375,802,420円

期末元本合計 2,375,802,420円

■損益の状況

当期 自2020年9月24日 至2021年9月21日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	306,879,835円
受 取 利 息	306,880,953
支 払 利 息	△1,118
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	148,959,437
売 買 益	296,114,498
売 買 損	△147,155,061
(C) そ の 他 費 用	△553,580
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	455,285,692
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	613,451,311
(F) 解 約 差 損 益 金	△182,069,245
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,460,391
(H) 合 計(D+E+F+G)	888,128,149
次 期 繰 越 損 益 金(H)	888,128,149

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。